



竹村石材新聞

春のお彼岸



春の気配が増してまいりました。当新聞で何度かご紹介しておりますが、長男の高校野球時代の保護者の方から、新たな著書を頂戴しました。まだ読了していませんが、「被害を避けることによる被害」という内容が衝撃的でした。避難することによって躍起になるあまり、高齢者や身障者に心身共に大きな負担がかかり、それが原因で亡くなった人もいるというのは驚きでした。事故というのはどんなに気を付けて

いても起こるものであり、その後の被害を最小限に抑えることが重要です。アクシデントに対して、いかに迅速且つ適切に対応してカバーするかということですが、これは野球も含めた競技全般にも当てはまるなあと思いました。さて、春のお彼岸も近づいてまいりました。お墓のこと

何かございましたら、お気軽にお声かけください。

竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名を記入
のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp



原発で重大事故

その時、どのように命を守るか?
児玉 一八 著



あけび書房

知っていますか? 3月の記念日

●3月3日「金魚の日」です

江戸時代、ひな祭りに金魚と一緒に飾る習慣があったことに由来して制定されました。金魚は室町時代に中国からもたらされ、江戸時代になると庶民も買えるようになりまし。飾った理由には諸説ありますが、豊かさの象徴や縁起の良いものとして、とても人気があったそうです。



■発行者：竹村石材株式会社

脇田 大 (わきだ まさる)

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。



竹村公伸



脇田 大



竹村元成

竹村石材株式会社
TEL: 076-241-0325
石川県金沢市寺町5-2-38



～お墓・仏事の三二知識～



★ 卵のような、不思議な形のお墓とは？

お寺の墓地などで、縦に長い卵のような変わった形の石がのっている、不思議な形のお墓を見かけたことはないでしょうか？ これは「無縫塔(むほうとう)」といって、主に僧侶のお墓として建てられたものです。その形から別名「卵塔」とも呼ばれています。平安時代まではお墓と言えば五輪塔が主流でした。鎌倉時代になって禅宗とともに中国から



伝わり、禅宗の高僧のお墓として建てられるようになりました。その後、江戸時代になると、宗派を超えて建てられるようになってきましたが、今でも寺院墓地の一角に、歴代ご住職のお墓としてズラッと並ぶ姿が印象的です。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

全長486m、高さは35mという日本最大級の古墳、仁徳天皇陵古墳(大仙古墳)は、どのような形をしているでしょう？

- ① 五角形
- ② 鍵穴形
- ③ ダイヤ型

ヒント

日本最大の前方後円墳です。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。